

令和8年 第3回

いなべ市議会 定例会 報告

令和 8 年第 3 回定例会報告

報告番号	件名	備考
報告 第 13 号	令和 7 年度いなべ市健全化判断比率の報告について	
報告 第 14 号	令和 7 年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第 15 号	令和 7 年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について	
報告 第 16 号	令和 7 年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について	
報告 第 17 号	令和 7 年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について	
報告 第 18 号	専決処分の報告について（いなべ市消防団大安東分団詰所新築工事の請負契約を変更する契約の締結）	
報告 第 19 号	専決処分の報告について（いなべ市消防団藤原地区詰所新築工事の請負契約を変更する契約の締結）	
報告 第 20 号	専決処分の報告について（いなべ市藤原文化センター大規模改修工事の請負契約を変更する契約の締結）	
	以下余白	

報告第13号

令和7年度いなべ市健全化判断比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規定により、令和7年度いなべ市健全化判断比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和8年9月1日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和 7 年度 いなべ市健全化判断比率

	令和 7 年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	— %	12.75 %
② 連結実質赤字比率	— %	17.75 %
③ 実質公債費比率	10.0 %	25.0 %
④ 将来負担比率	— %	350.0 %

報告第14号

令和7年度いなべ市水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規定により、令和7年度いなべ市水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和8年9月1日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和7年度いなべ市水道事業会計資金不足比率

	令和7年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 2,704,652 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 797,472 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 339.2\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 447,867 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 224,581 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 2,927,938 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 2,704,652 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 797,472 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 797,472 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和6年度いなべ市水道事業会計資金不足比率＝ $\blacktriangle 344.6\%$

報告第15号

令和7年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率の報告について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第22条第1項の規定により、令和7年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率を別紙監査委員の意見を付けて議会に報告する。

令和8年9月1日提出

いなべ市長 日 沖 靖

令和7年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率

	令和7年度	経営健全化基準
資金不足比率	— %	20.0%

【算出式】

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額 } \blacktriangle 1,603,848 \text{ 千円} \cdots (A)}{\text{事業の規模 } 692,539 \text{ 千円} \cdots (B)} = \blacktriangle 231.6\%$$

$$\begin{aligned} (A) \text{ 資金の不足額} &= \text{流動負債額 } 936,540 \text{ 千円} - \text{控除企業債 } 695,756 \text{ 千円} \\ &\quad - \text{流動資産額 } 1,844,632 \text{ 千円} \\ &= \blacktriangle 1,603,848 \text{ 千円} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} (B) \text{ 事業の規模} &= \text{営業収益 } 692,539 \text{ 千円} - \text{受託工事収益 } 0 \text{ 千円} \\ &= 692,539 \text{ 千円} \end{aligned}$$

※ 資金不足比率が0以下のため、資金不足は発生していない。

※ 資金不足比率は、セグメント（公共・農集）ごとに単位未満での四捨五入により算出しているため、下水道事業合算の決算数値とは一致しないことがある。

※ 資金不足比率が20%以上となった場合には、経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組まなければならない。

※ 令和6年度いなべ市下水道事業会計資金不足比率＝▲230.2%

報告第16号

令和7年度一般財団法人ほくせいふれあい財団決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般財団法人ほくせいふれあい財団の経営状況について、次のとおり報告する。

令和8年9月1日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和7年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和8年度事業計画書及び収支予算書

一般財団法人ほくせいふれあい財団

令和 7 年度事業状況報告書及び収支決算書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

令和 8 年度事業計画書及び収支予算書

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

令和 7 年度事業状況報告書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

令和 7 年度は、法改正による財団法人から一般財団法人に移行し 13 年目となり、青川峡キャンピングパークは開設から 23 年目を迎えた。

アウトドア関連業界では、近年のキャンプブームが一旦落ち着き、他のレジャーに人が流れたことや、物価の高騰、レジャー活動の減退により、全国的に経営の悪化状況が続いている。

事業収入は 123,822 千円と前年対比で 94.4%、入場者数は 24,125 人と前年対比 83.9% でいずれも前年比減となった。

主な減収要因としては、キャンプブームが落ち着き、テント泊、建物泊共に減少したこと、河川工事の影響により秋以降の水辺オートサイトの稼働数が減少し、キャンプシーズンとなる秋に水辺オートサイトがフル稼働できなかったことなどにより、土日も含め全体的な利用者数が減少したことにある。

その中で、利用者数の前年比 83.9% に対して、事業収入が 94.4% の減少で踏みとどまれたのは、炭火焼ハウスの好調に支えられたと言える。こちらは、前年対比で 173.1% と利用が伸びており、料金の改定や施設の座席レイアウトの変更による効果が表れ、一般、団体双方の利用増加につながっている。

また、建物泊で少人数の利用や平日にお得に利用できるプランやアーリーチェックインプランなど、客単価を上げ、長く滞在できるプランの種類を増やすなどの利用獲得策や、公式ホームページだけでなく、他の宿泊予約サイトとの連携（OTA）による新たな顧客獲得方法の導入の成果が徐々にではあるが表れてきていると推測される。その他に、GCI との連携によりキャンプ場の利用以外での収益を上げるなど、その他の収益増の取組も行っている。

昨年から導入した清掃マニュアルやコテージなどのクリーニング手順の見直しの効果も表れ、効率的な清掃作業や適切な人員配置により、作業時間の短縮がパート、アルバイトの人件費抑制につながった。

昨年度に導入した予約システムで予約の案内などを一新したことで、従来の予約受付書など紙による郵送物を廃止した。これによる郵送コストの削減などが引き続き郵送費の抑制効果として表れている。

施設の老朽化や経年劣化に伴い、今年度はサニタリー（炊事棟）1，2 の屋根の全面改修を行った。

公園管理事業として、いなべ市と締結した青川公園管理委託契約により、年間を通して公園内にある遊具の保守管理や点検、修繕、草刈りなどを実施した。

令和7年度収支決算書
正味財産増減計算書

令和7年4月1日 から 令和8年3月31日 まで

(合 算)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経 常 増 減 の 部			
(1) 経 常 収 益			
①基本財産運用益	480,456	607,486	△ 127,030
基本財産受取利息(注1)	480,456	607,486	△ 127,030
②事業収益	123,821,530	131,092,649	△ 7,271,119
指定管理料収入	0	0	0
温泉利用料収入	0	0	0
施設利用料収入	18,577,650	21,324,527	△ 2,746,877
トレーニング利用料収入	0	0	0
オートキャンプ収入	20,677,580	23,987,239	△ 3,309,659
かもしかキャンプフィールド収入	1,804,660	1,784,750	19,910
コテージ等収入	56,412,005	60,444,050	△ 4,032,045
炭火焼ハウス収入	4,998,665	2,886,195	2,112,470
売店収入	14,876,331	13,686,027	1,190,304
あじさいの店収入	0	0	0
レンタル収入	3,172,600	3,393,626	△ 221,026
キャンセル料収入	1,358,195	1,589,635	△ 231,440
その他の収入	1,943,844	1,996,600	△ 52,756
③雑収入	969,833	33,942	935,891
受取利息	64,527	30,370	34,157
雑収入	905,306	3,572	901,734
経常収益計	125,271,819	131,734,077	△ 6,462,258
(2) 経 常 費 用			
①事業費	134,912,877	143,278,871	△ 8,365,994
事業原価	13,503,002	9,724,244	3,778,758
期首棚卸高	9,603,952	9,446,366	157,586
売店仕入	10,980,602	9,881,830	1,098,772
あじさいの店仕入	0	0	0
期末棚卸高	△ 7,081,552	△ 9,603,952	2,522,400
役員報酬	667,500	2,337,500	△ 1,670,000
給与手当	42,835,394	50,706,024	△ 7,870,630
臨時雇賃金	2,179,675	2,649,879	△ 470,204
退職金	350,000	600,000	△ 250,000
法定福利費	6,211,426	7,516,534	△ 1,305,108
福利厚生費	3,192,576	3,742,936	△ 550,360
旅費交通費	376,741	593,066	△ 216,325
通信運搬費	952,613	1,675,868	△ 723,255
諸謝費	23,614	32,531	△ 8,917
減価償却費	10,593,089	11,968,271	△ 1,375,182
賃借料	2,012,456	2,006,780	5,676
保険料	586,578	550,986	35,592
修繕費	4,410,208	1,257,630	3,152,578
水道光熱費	9,711,016	10,076,885	△ 365,869
消耗品費	10,255,527	12,751,939	△ 2,496,412
租税公課	3,948,683	3,982,182	△ 33,499

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
負 担 金	56,250	56,250	0
印 刷 製 本 費	654,539	611,185	43,354
広 告 宣 伝 費	1,670,860	1,431,313	239,547
支 払 手 数 料	2,565,688	2,610,052	△ 44,364
諸 会 費	106,075	89,275	16,800
新 聞 図 書 費	36,762	45,762	△ 9,000
車 両 費	946,104	1,059,866	△ 113,762
委 託 費	14,939,269	13,811,150	1,128,119
イ ベ ン ト 費	2,127,232	1,390,763	736,469
②管 理 費	824,046	1,375,547	△ 551,501
役 員 報 酬	292,500	837,500	△ 545,000
給 与 手 当	175,605	172,713	2,892
法 定 福 利 費	53,923	69,198	△ 15,275
福 利 厚 生 費	25,580	12,719	12,861
通 信 運 搬 費	4,786	8,421	△ 3,635
水 道 光 熱 費	48,799	50,637	△ 1,838
租 税 公 課	41,053	42,394	△ 1,341
負 担 金	18,750	18,750	0
支 払 手 数 料	550	715	△ 165
委 託 費	162,500	162,500	0
経 常 費 用 計	135,736,923	144,654,418	△ 8,917,495
当 期 経 常 増 減 額	△ 10,465,104	△ 12,920,341	2,455,237
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
固 定 資 産 除 却 損	0	0	0
寄 付 金	0	0	0
回 数 券 払 戻 損	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 10,465,104	△ 12,920,341	2,455,237
法人税、住民税及び事業税	72,000	72,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,537,104	△ 12,992,341	2,455,237
一般正味財産期首残高	180,089,398	193,081,739	△ 12,992,341
一般正味財産期末残高	169,552,294	180,089,398	△ 10,537,104
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	169,552,294	180,089,398	△ 10,537,104

(注1) 基本財産受取利息

	当 年 度	前 年 度
受 取 利 息	400,000	550,000
償却原価法による償却費	80,456	57,486
	<u>480,456</u>	<u>607,486</u>

財 産 目 録
令和 8 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 (現金手許有高)	383,251		
預 金	22,590,352		
普通預金／三十三銀行 阿下喜支店	12,720,086		
普通預金／百五銀行 阿下喜出張所	4,113,905		
普通預金／桑名三重信用金庫 阿下喜支店	456,317		
振替口座／ゆうちょ銀行 名古屋貯金事務センター	4,808,009		
普通貯金／三重北農業協同組合 阿下喜支店	492,035		
未収入金 (施設利用料 他)	6,120,781		
棚卸資産 (売店商品 他)	7,081,552		
前払費用 (飲食店営業許可会費 他)	3,950		
仮 払 金 (リサイクル預託金)	331,059		
流 動 資 産 合 計		36,510,945	
固 定 資 産			
基 本 財 産			
投資有価証券 (第374回利付国債)	49,356,345		
基 本 財 産 合 計	49,356,345		
その他固定資産			
建物 (炭焼棟 他)	31,144,041		
建物附属設備 (電気工事 他)	16,707,184		
構築物 (植栽工事 他)	35,338,823		
機械装置 (バックホウ 他)	760,013		
車両運搬具 (軽バン 他)	684,002		
工具器具備品 (監視カメラ 他)	3,864,272		
ソフトウェア (予約システム)	1,096,884		
電話加入権	20,000		
長期前払費用 (炊事棟負担金)	217,776		
そ の 他 固 定 資 産 合 計	89,832,995		
固 定 資 産 合 計		139,189,340	
資 産 合 計			175,700,285
負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金 (未払給与 他)	4,138,091		
未払法人税等 (当期確定額)	72,000		
未払消費税等 (当期確定額)	1,937,900		
流 動 負 債 合 計		6,147,991	
負 債 合 計			6,147,991
正 味 財 産 合 計			169,552,294

令和 8 年度事業計画書

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

青川峡キャンピングパークは開設から 24 年目を迎える。

近年のアウトドアレジャーブームは終息し、人件費、商品や消耗品の仕入れ、委託費等の上昇、世界的な情勢不安による燃料や生活必需品の物価高騰により社会的にレジャー意欲は低下傾向にあり、昨年に続きキャンプ業界全体が厳しい状況にある。このような環境下で生き残るための運営指針が必要となる。

アウトドアレジャー志向は低下気味の状況にあるが、キャンプ場が立地するいなべ市では、幸いにも以下の要因が観光誘致の追い風となっている。

現在のいなべ市の状況を整理すると、新規レジャー施設として、「Nordisk Hygge Circles UGAKEI」（令和 5 年）、「いなべ阿下喜ベース」（令和 6 年）、「阿下喜ビジターセンター」（令和 7 年）が開業した。さらに、「いなべインターチェンジ」が令和 7 年 3 月 29 日に開通し、アクセス面が向上した。令和 8 年度には、いなべ市梅林公園の新施設「あわい」が開業予定である。

このように、いなべ市では観光拠点となる宿泊施設の開業やインターチェンジの開通など、他の地域に比べ、観光業が活発であり周辺地域からも注目されている。特に、今年度開業予定の「あわい」については、今後さらに話題となりいなべ市への注目が集まることが予想される。これらを活かし、キャンプ場として「アウトドアシティいなべ」の一翼を担う役割を果たしながら、他の観光拠点との連携を図り新規顧客の獲得を進める。

また、いなべ市、GCI が推進する山辺観光推進計画にも積極的に協力、連携し、来訪者によるにぎわいの創出につなげるとともに、「アウトドアシティいなべ」への市民愛着の醸成も行っていく。さらに、施設の老朽化対策を強化する必要があるため、現在の利用者ニーズに沿った質の高い清潔で快適な利用空間を提供するべく、リニューアルとリノベーションを進める。

令和 8 年度は、景気沈滞による社会的なレジャーマインドの停滞という厳しい環境下でいかに攻めの姿勢で新しいチャレンジを試みた運営を行っていくかが課題となる。「やりたいを“できた”に」の実現を通じて、訪れた人々に満足感と成長の体験を提供し、地域に根付いた唯一無二のキャンプ場としてのブランドを確立していく。

【運営の柱】

- (1) 新たなキャンパー層の開拓
- (2) 利用満足度向上、リピーター増加
- (3) 人員確保、職場環境の整備
- (4) 河川環境の維持
- (5) いなべ市、三重県との連携
- (6) 市内施設、イベントとの連携
- (7) PR と集客強化
- (8) ブランド価値の向上
- (9) 長期的な運営計画の策定

令和8年度 青川峡キャンピングパーク 収入予算明細書

(単位：千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 収入の部			
1 事業収入			
施設利用収入	33,000	33,000	0
オートキャンプ収入	33,500	33,500	0
コテージ収入	21,000	21,000	0
アイランドコテージ収入	20,000	20,000	0
ログハウス収入	7,500	7,300	200
ログキャビン収入	7,900	7,700	200
トレーラーキャビン収入	3,100	3,100	0
CABIN'Gサイト収入	18,500	17,500	1,000
かもしかC F収入	6,000	5,600	400
炭火焼ハウス収入	5,100	4,200	900
売店収入	20,500	21,000	△ 500
レンタル収入	4,200	4,400	△ 200
イベント収入	2,500	2,300	200
キャンセル料収入	1,100	1,200	△ 100
その他収入	500	1,000	△ 500
計	184,400	182,800	1,600
2 基本財産運用収入			
利息収入（国債）	190	190	0
計	190	190	0
3 雑収入			
受取利息	1	1	0
雑収入	9	9	0
計	10	10	0
当期収入合計（A）	184,600	183,000	1,600
前期繰越収支差額	0	0	0
収入合計（B）	184,600	183,000	1,600

令和8年度 青川峡キャンピングパーク 支出予算明細書

(単位：千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
II 支出の部			
1 事業費			
事業原価			
仕入高	11,000	12,000	△ 1,000
計	11,000	12,000	△ 1,000
2 管理費			
人件費			
役員報酬	3,500	4,000	△ 500
給与手当	68,000	65,000	3,000
退職手当引当金	400	400	0
法定福利費	7,400	7,200	200
福利厚生費	3,200	4,400	△ 1,200
臨時雇賃金	3,800	4,200	△ 400
人件費 計	86,300	85,200	1,100
経費			
旅費交通費	400	380	20
通信運搬費	1,000	1,000	0
諸謝費	50	50	0
保険料	700	650	50
水道光熱費	12,000	11,500	500
消耗品費	11,500	11,000	500
租税公課	9,800	9,500	300
負担金	100	100	0
印刷製本費	600	800	△ 200
広告宣伝費	2,000	1,800	200
支払手数料	2,800	2,700	100
諸会費	100	100	0
新聞図書費	100	100	0
車両関連費	1,300	1,200	100
委託費	17,000	16,500	500
イベント費	2,000	2,000	0
修繕費	2,500	2,400	100
賃借料	2,200	2,100	100
減価償却費	10,000	0	
経費 計	76,150	63,880	2,270
計	162,450	149,080	3,370
3 固定資産取得支出			
その他の固定資産			
建物	5,000	10,000	△ 5,000
建物附属設備	2,000	2,500	△ 500
構築物	1,000	2,000	△ 1,000
機械装置	500	1,000	△ 500
工具器具備品	1,000	1,000	0
ソフトウェア	500	600	△ 100
車両運搬具	1,000	800	200
計	11,000	17,900	△ 6,900
4 予備費			
予備費	100	100	0
計	100	100	0
当期支出合計 (C)	184,550	179,080	5,470
当期収支差額 (A) - (C)	50	3,920	△ 3,870

報告第17号

令和7年度一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ決算等の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により一般社団法人グリーンクリエイティブいなべの経営状況について、次のとおり報告する。

令和8年9月1日提出

いなべ市長 日 沖 靖

- 1 令和7年度事業状況報告書及び収支決算書
- 2 令和8年度事業計画書及び収支予算書

一般社団法人グリーンクリエイティブいなべ

令和 7 年度事業状況報告書及び収支決算書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

令和 8 年度事業計画書及び収支予算書

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

令和 7 年度事業状況報告書

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

いなべ市では、にぎわいの森を核に、山辺エリアを意識した活性化事業が進められており、行政や民間を問わず、様々なプレーヤーが活発に活動しています。令和 7 年 7 月には阿下喜ビジターセンターが開業し、阿下喜の旧市街地エリアを中心に新たな流れが生まれています。にぎわいの森も 7 周年を迎え、数多くのイベントを開催し、地域の方に関わりの場を提供したほか、新たな利用価値の創出や公園的機能の拡充と、施設の価値及び利用者満足度の向上を図りました。また、昨年度に引き続き、観光関連事業やグリーンインフラの推進支援、健康アプリの啓発といった分野での挑戦を続けてまいりました。

商品開発、販売の分野においては、三重県と連携した石樽茶商品の開発などを行い、市内施設やイベントのみならず、市外でも取り扱っていただきました。いなべ市及び市内事業者と連携した茶っぷりんのプロモーションでは、大阪・関西万博での販売や PR を実施し、多くの方に認知していただくきっかけとなりました。また、昨年にも引き続き出店した「梅まつり」では、いなべ市観光協会と連携することで相乗効果が得られ、多くの方にご購入いただき、小売業でも成長を遂げることができました。

いなべ市のグリーンインフラに関する取組では、さまざまな調査を基に、自然資源を活用したまちの課題解決につながる取組を実施し、「自然を魅力に感じる層」の増加につなげることができました。弊社としても改めて行政や地域の方々とまちの未来や地域資源について考えることで共にまちづくりを推進することができたと感じています。

以下、事項別に事業の実施状況を報告いたします。

- 1 にぎわい事業
- 2 地域デザイン事業
- 3 地域イノベーション事業
- 4 その他の事業
- 5 参考 受賞歴

1 にぎわい事業

(1) 庁舎周辺管理業務

ア 管理業務

業務	作業内容	実績
外部管理業務	草取り、清掃	3,598 時間
	草刈り、剪定	96 時間
	草木処分	5,250kg
シビックコア棟清掃業務	清掃全般	1,423 時間

イ マネジメント業務

(ア) 施設利活用の促進

OUT BURN	令和 7 年 4 月 6 日～7 日、9 月 27 日～28 日
デカケルわんこびより	令和 7 年 4 月 26 日～27 日
あそべる水族館	令和 7 年 5 月 10 日～11 日
フェアトレードデー i n いなべ	令和 7 年 5 月 11 日

(イ) 利用相談及び調整

いなムジカ	令和 7 年 4 月 20 日、5 月 18 日、6 月 22 日、 9 月 28 日、10 月 26 日、11 月 16 日
衣瑋ノ森	令和 7 年 12 月 14 日
ノースコールコンサート	令和 8 年 1 月 25 日

(ウ) 修繕、安全管理等

カフェロブ電源ショート対応
キッチンエビオ停電対応
八舎火災報知器作動対応
八舎雨樋清掃
魔法のぱん冷蔵庫ショート、漏水対応
にぎわいの森パラソル撤去
入口看板記載変更
スズメバチ注意喚起

(2) グリーンクリエイティブいなべ推進業務

ア にぎわい創出業務

(ア) weekendMarket

開催 77 回	参加者数 204 軒
レジカウント 2,390 件	売上総額 3,484,800 円

(イ) にぎわいの森 Wi-Fi、WOTA 管理

光回線移設工事調整	
WOTA メンテナンス 対応 50 回	消耗品購入 (年 2 回)

(ウ) ドッグランの管理

人工芝の張替え、改修に向けた調整 (R8 オープンに向けて)

イ 地域回遊促進業務

(ア) 大阪関西万博プロモーション実施

実施日 令和 7 年 8 月 21 日 EXP0 大阪関西万博関西パビリオン「三重ブース」
いなべ市在住の 2 人のアーティストによるコラボレーションライブ、ワークショップ
開催

観覧者数 1 時間当たり 100～150 人程度

会場ではいなべの PR 動画上映やパンフレット配布を行った。

(イ) ONSEN ガストロノミーウォーキング運営

実施日 令和 8 年 2 月 22 日 いなべ市阿下喜ビジターセンター

参加人数 129 人（ゲスト含む）（県内 50 人、県外 76 人、ゲスト 3 人）

市内商業、観光施設等への回遊の仕組みを構築支援した。

協力市内事業者 飲食関係 12 店舗 運営関係 6 団体

ウ プロモーション業務

(ア) パンフレット作成 にぎわいの森パンフレットの刷新

(イ) 電子、紙媒体を通じたにぎわいの森及び市内回遊への情報発信

インスタグラム投稿 約 130 投稿

プレスリリース送付 八舎新規オープン、そば祭り

メディア取材 新聞掲載 2 件、雑誌掲載 3 件、テレビ紹介 8 件等

(ウ) 市内外イベント及び企業出店

ツアー・オブ・ジャパン、ヤマザキマザック㈱（年 2 回）、㈱デンソー（4 日間）

中部ブロック商工会女性部連合会交流研修会、西岡可鍛工業㈱、トヨタ車体㈱

(エ) いなべパン祭り、inabe' s Market 開催

いなべパン祭り 年 3 回開催

令和 7 年 6 月 28 日 6 店舗出店 全店舗会計数 358 会計

八舎プレオープンイベント同時開催

令和 7 年 11 月 1 日 5 店舗出店 全店舗会計数 300 会計

inabe' s Market そば祭りと同時に開催

令和 7 年 11 月 23 日 11 店舗出店 全店舗会計数 535 会計

(3) 山辺シナジー創出支援業務

ア にぎわいの森の機能強化

テナントとの定例会（毎月 1 回）の開催

GCI 内部にてマーケティングの研究と研修会開催

来場者 web アンケート調査（136 件）、来場者インタビュー調査（7 人）

Web 広告の運用 Google ディスプレイ広告、Instagram 広告実施

イ 地域連携型イベント、ワークショップの運営

(ア) 石樽茶プロモーション

令和 7 年 6 月 1 日～23 日

(イ) 七夕飾り

令和 7 年 6 月 28 日～7 月 7 日

(ウ) 風鈴飾り

令和 7 年 7 月 7 日～9 月 30 日

(エ) 風鈴飾りワークショップ

令和 7 年 7 月 12 日、13 日

(オ) ウォーターエリア

令和 7 年 8 月 7 日～18 日

- (カ) ハロウィン施策 令和 7 年 10 月 8 日～11 月 4 日
- (キ) 選挙割施策 令和 7 年 11 月 10 日～16 日
- (ク) クリスマスイベント「ADVENT」 令和 7 年 12 月 1 日～25 日
- (ケ) 焚火の広場 令和 7 年 12 月 6 日～21 日
令和 8 年 1 月 18 日、2 月 1 日
(雨天のため 2 日間中止)
- (コ) あまさけ振舞い 令和 8 年 1 月 4 日
- (サ) 福引抽選会 令和 8 年 1 月 4 日～18 日
- (シ) ヴァレンタインマルシェ、大声コンテスト 令和 8 年 2 月 14 日
- ウ にぎわいの森 機能強化及び集客施策
 - (ア) あげき温泉回遊キャンペーン
実施日 令和 8 年 2 月 9 日～23 日
利用者 にぎわいの森 42 人 あげき温泉 53 人
にぎわいの森 あげき温泉の割引チケット配布
あげき温泉 にぎわいの森の各店舗で利用できる優待シート配布
 - (イ) にぎわいの森と梅林公園との連携
実施日 令和 7 年 2 月 26 日～3 月 19 日
利用者 131 人
梅まつりの入場券を提示いただいた方に石樽茶ティーバッグプレゼント
- (4) inabe' s Shop、情報発信コーナー「31 スタジオ」の運営
 - ア 地域商材の紹介と販売 売上 21,920,512 円 取引事業者 約 80 事業者
(参考) 昨年実績 売上額 20,418,516 円
 - イ 市内の情報収集及び発信
 - ウ 梅まつり会場にて出店 (2 月 21 日～3 月 20 日)
- (5) 施設の経済波及効果測定
 - ア 2024 年度三重県内経済波及効果 3.03 億円
うち、粗付加価値誘発額 1.75 億円
うち、雇用創出効果は、雇用者所得誘発額 0.70 億円、雇用者誘発数 29 人
 - イ いなべ市観光入込客数 (うち、にぎわいの森)
平成 30 年 431,632 人
令和元年 800,542 人 (345,999 人) 5 月開業
令和 2 年 722,710 人 (363,740 人)
令和 3 年 680,860 人 (371,660 人)
令和 4 年 660,715 人 (357,200 人)
令和 5 年 618,359 人 (345,597 人)
令和 6 年 585,375 人 (337,741 人)
- (6) 山辺店舗群支援業務
 - ア MobileHUTTE(ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)企画進行管理
 - (ア) 試験車両 (荷箱) の管理

- (イ) 車両（荷箱）運用課題等のフィードバック（市及びダイハツ工業）
- (ウ) 新型荷箱開発支援（令和８年度運用開始を予定）

イ 実証運用

市内外で年間 34 回運用

市外 もしも FES、FIELDSTYLE、ドデ祭り等

市内 いなべ新そば祭り、各キャンプ場等

(7) まちづくり支援

ア 東海地区イベント

もしもフェス名古屋（愛知） 令和 7 年 4 月 5 日～6 日

GO OUT JAMBOREE2025（愛知） 令和 7 年 4 月 12 日～14 日

CampJEEP（長野） 令和 7 年 8 月 23 日～24 日

FIELDSTYLE（愛知） 令和 7 年 11 月 15 日～16 日

イ 関東地区イベント

TOKYO OUTDOOR SHOW（千葉） 令和 7 年 6 月 26 日～29 日

(8) 健康アプリいなべる啓発業務

令和 7 年 9 月、令和 8 年 3 月キャンペーン景品対応 2 事業者から景品提供を受けた

令和 7 年 12 月景品対応 29 種類、総数 331 件の景品を準備

計 16 事業者から景品提供を受けた（昨年 15 事業者）

(9) 阿下喜ビジターセンター施設管理業務

ア 施設の維持管理業務

設備改善、緊急時対応

外タイマー設置、光 LAN ケーブル延長工事立会い

大雨による雨漏り対応、積雪対応

イ 来場者対応業務

令和 7 年 7 月 7 日オープン

営業時間 9:00～20:00（火、水、年末年始休業）

総来客者数 2,236 人（うち 17 時以降 183 人）

売上合計 186,550 円（内訳 施設利用費 159,950 円、レンタサイクル 28,600 円）

利用実績 コワーキングスペース 91 件（253 時間）

ミーティングスペース 16 件（75 時間）

多目的スペース 14 件（14 日）

調理室 1 件（4 時間）

創作室 1 件（5 時間）

いなチャリ 16 件（26 人）

ウ イベントサポート業務

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| (ア) 「八幡祭」水出し茶振舞 21 時までの延長営業 | 令和 7 年 7 月 27 日 |
| (イ) 「まんまるマルシェ」子育て向けマルシェ | 令和 7 年 11 月 15 日 |
| (ウ) 「DJ イベント」日程調整 | 令和 8 年 2 月 15 日 |
| (エ) 「あげきのおひなさん」おひなさんの展示 | 令和 8 年 2 月 15 日 |

(オ) 「空き家活用イベント」

令和 8 年 3 月 8 日

エ レンタサイクル維持管理

点検マニュアル作成

車両故障対応（パンク、チェーン不備、システムエラー）

年次点検（全 10 台 12 月実施）

利用者対応（カード貸与者やアプリ利用者への説明）

イベント活用（観光協会主催イベントへの貸与、温泉ガストロノミー活用）

2 地域デザイン事業

(1) 地域資源を活かした商品開発、販路開拓

ア 山辺商品開発促進業務

(ア) 山辺資源の活用

山辺商品カタログ、ギフトボックス作成

(イ) 山辺新規商品開発

いなべ市在住アーティストコラボレーションギフト商材

いなべの山辺資源から色を抽出するワークショップ開催 令和 7 年 11 月 29 日

(ウ) 山辺商品 PR 支援

山辺商品カタログ市内企業等配布、設置

台湾訪問における観光プロモーション協力

伊勢角屋麦酒連携商品の輸出協力

イ 石榑茶 P R 支援業務

(ア) 石榑茶ブランディング支援に向けた企業研修実施 令和 7 年 10 月 30 日

参加者 20 人（スターバックスジャパン、石榑茶農家、桑名農政事務所）

(イ) スターバックスコーヒーでのプロモーションイベント開催

石榑茶試飲、クイズイベントを実施

イオンモール東員店 令和 8 年 1 月 23 日

桑名サンシパーク店 令和 8 年 2 月 25 日

菰野店 令和 8 年 2 月 26 日

ウ いなべの茶っぷりん支援業務

(ア) 取り扱い業者調査 9 店舗

(イ) 茶っぷりんツール制作

パンフレット、のぼり、テーブルクロス、オリジナル T シャツ制作

(ウ) PR イベント実施

(エ) 10 周年記念イベント（にぎわいの森） 令和 7 年 5 月 3 日

茶っぷりんの出店販売、石榑茶試飲販売会、ダンスステージ

(オ) 大阪関西万博出店（関西パビリオン多目的エリア） 令和 7 年 9 月 2 日～7 日

美し国彩り三重バザールのブースにて出店

参加事業者 マル信緑香園、こんま亭、FUJIHUB 他 3 事業者

2,667 個販売（期間中来場者約 110 万人）

(2) 山辺ツーリズム体制構築業務

受入体制構築にかかる人材育成研修

ア 通訳案内士による研修及びアドバイザリー 令和7年9月19日

イ ランドオペレーターによる研修及びアドバイザリー 令和8年1月19日

ウ ファムトリップでの実践研修及び受入れコンテンツ資料作成支援

(3) 山辺プロモーション業務

ア SNSによる広報体制構築業務

(ア) SNSマーケティングにおける初期運用、効果検証

Instagram、TikTok、Xアカウント構築

(イ) SNSアカウント初期運用とエンゲージメント検証

Instagram フォロワー数 1850 人 TikTok 再生回数 82,000 回

エンゲージメント率 平均 4.8%

(ウ) 地域連携型コンテンツの企画、取材業務

70 か所の取材（藤原岳自然科学館、金井神社、聖宝寺、宇賀溪他）

(エ) 季節ごとの素材撮影業務

(オ) 次期フェーズに向けた運用ロードマップの最適化

イ インバウンド現地セミナー及びファムトリップの実施

(ア) インバウンド現地セミナー（フランス）

開催日 令和7年11月18日

参加者 フランス旅行エージェンツ、企業委員会、フランス旅行会社メディア 11 社
22 人

JNTO、日本大使館 2 社 2 人

(イ) 欧州圏のターゲットを顧客に持つ国内旅行エージェンツ対象のファムトリップ

開催日 令和8年1月28日～30日

参加者 4 人（株式会社エイチ・アイ・エス、Into Japan Specialist Tours、アヤ
ベックス株式会社、KEN 株式会社）

ウ 富裕層インバウンド客をターゲットとしたコンテンツタリフ作成

マル信緑香園、okudo 中村舎、宇賀溪、梅林公園、阿下喜散策、農園他 10 店

エ メディア等広報業務

(ア) ファムトリップ旅行会社受入による広報

MICE ファムトリップ 5 社 令和7年12月11日

タイファムトリップ 16 社 令和8年3月5日

(イ) 企業向け広報

しんきんビジネスフェア 2025 出店 令和7年10月10日

入場者数 5,025 人（アンケート取得 29 社 49 人）

(4) その他ツーリズム事業

ア いなべ、暮らしを旅するサイト運営（記事、体験コンテンツ実施）

イ いなべ、暮らしを旅する体験実施（実施回数 15 回 参加者数 275 人）

ウ 三重自慢の観光資源を活用した滞在価値創出支援事業

- エ 小牧市光ヶ丘中受入れ 令和7年5月14日～15日
- オ フランス団体受入れ 令和7年6月2日、3日
- カ 帝京大可児中受入れ 令和7年9月30日～10月2日
- キ 三重県観光商談会 令和7年10月30日
- ク 環境省「良好な環境を活用した観光モデル事業」先進地視察先として受入れ21団体39人 令和7年11月14日
- ケ 心のバリアフリー研修会実施 令和7年12月16日
- (5) アウトドア、自然体験支援業務
 - イベント開催に向けた準備、体験等事業者との調整、アンケート業務を行った。
 - イベント名 木育キャラバン in いなべ～触れて遊べる木のおもちゃイベント～
 - 実施日 令和7年5月31日（土）～6月1日（日）
 - 開催場所 大安スポーツ公園体育館
 - 来場者 800人（1日目）、700人（2日目）
- (6) にぎわいの森グリーンインフラ機能向上整備業務
 - にぎわいの森及び庁舎周辺において、快適な緑の滞在空間を生み出すことで、防災、減災機能の向上、酷暑への対応、訪問者のウェルビーイングの向上を図った。（雨庭、雨庭ビオトープ、緑溝、マウンド（築山）盛土・小丘、看板・解説サインの設置、植栽木の管理）
- (7) にぎわいの森グリーンインフラ機能向上効果測定業務
 - にぎわいの森グリーンインフラ機能向上整備の効果を測定するため、雨水貯留浸透機能、暑さ指数（WGBT）、利用者のウェルビーイングに関する調査を行った。
 - ア 調査計画策定業務 調査計画（令和7～9年度）の策定
 - イ 雨水貯留浸透機能、暑さ指数（WGBT）、利用者のウェルビーイングに関する調査の実施
- (8) グリーンインフラ情報発信業務
 - 市民が市内でグリーンインフラの取組を行う際活用できるパンフレットを作成した。
 - 「いなべの自然とあそぶ」パンフレット 8,000部印刷
 - ア 配布場所 市内こども園、公共施設（図書館）等
 - イ 発行 令和8年3月1日
- (9) 啓発イベント業務
 - ア 啓発イベント企画運営業務
 - 主に市内のこどもとその保護者を対象に、自然資源を活用した啓発イベントを実施。また、実施に伴うフィールド整備も行った。
 - (ア) InabeGreenLab. 2025「川で遊ぶ日」 令和7年5月31日（270人）
 - (イ) InabeGreenLab. 2025「川で遊ぶ日」 令和7年11月22日（350人）
 - イ 啓発イベント実施に伴う研修の企画運営業務
 - イベント実施及びグリーンインフラの推進に協力する市民等を対象に、イベント実施のため必要な技能等を習得するための研修を実施した。
 - (ア) InabeGreenLab. 2025「川で遊ぶ日」に向けた研修 令和7年5月23日（9人）

- (イ) InabeGreenLab. 2025「川で遊ぶ日」に向けた研修 令和7年5月24日（9人）
- (ウ) InabeGreenLab. 2025「火を囲む日」に向けた研修 令和7年10月25日（11人）
- (エ) InabeGreenLab. 2025「火を囲む日」に向けた研修 令和7年10月27日（8人）

ウ 啓発イベント協力団体育成支援業務

啓発イベントに協力する市民団体育成を目的に、市が実施するクラウドファンディングについて、返礼品の調整、調達、発送を行った。

支援件数（発送件数）77件、支援合計額 308,500円

市内連携事業者数 10事業者 返礼品、企画の調整 15件

3 地域イノベーション事業

(1) 観光ポテンシャル強化業務

山辺エリアで開発中の拠点における施設と地域を相互連携した運営体制を構築し、拠点としてのポテンシャルを最大限上げつつ、グリーン・ツーリズム推進地区との連携を含めた事業体制構築を行った。

ア 拠点運営体制や地域との連携、公園管理のあり方検討

イ 経済波及効果等算出基礎の構築

山辺エリア全体でのマネジメントの実現に向けて、連携する各施設でのデータ取得（アンケート）手法を検討し、今後のエリアマネジメントの基礎を構築した。

ウ 地域連携を担う人材の育成

日本旅行グローバルソリューションズ 坂井慎氏による、旅行商品の造成や地域連携に関する伴走支援を実施。

株式会社ユニットティ 代表取締役 永山卓也氏による、Googleを活用した施設運営ノウハウに関する研修を実施。

(2) 山辺誘客体制構築支援業務

山辺エリアの限られた人員での、効率的かつ効果的な地域経営を行うため、山辺エリアでの横断的なプラットフォームの基礎を形作る計画案を、市の山辺SDGsの考え方とJSTS-D（Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations）の基準を踏まえ作成した。また、山辺の観光施設のみならず、体験等を提供しようとする事業者も利用することのできるサイトの構築を行った。これらを利用し、令和8年度以降、山辺エリアの施設を横断的に繋ぎ、面での誘客を促進する。

(3) 地域回遊PR支援業務

アジア最大級のキャンピングカーイベントに出展し、Nordisk Hygge Circles UGAKEIや愛犬と楽しめるやまてらす、にぎわいの森など、いなべ市のPRを行った。

(4) 補助金事業（過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業）

ア 梅の商品開発

石見式醸造方式によるクラフトビール製造所の整備を行い、2つの味わいの試作品を制作。梅まつりにて販売及びリサーチを行った。また、梅シロップ、梅干しも商品化し、梅まつりにて販売を行った。

イ ハーブ農園の整備とワークショップ開発

鼎地区の住民から農地を借り受け、ハーブの試験栽培を開始。収穫したハーブを使い商品、体験サービスを作成した。ハーブ栽培への参画や、できあがったハーブを使った体験の提供など、今後各地域への回遊を促進する。

ウ ツーリズム商品造成

在京ランドオペレーターによる現地視察、ファムトリップの実施 令和8年1月28日（Into Japan Specialist Tours、株式会社エイチ・アイ・エス、アヤベックス株式会社、KEN 株式会社）

エ 梅を使った体験や地域内回遊のための車両等購入

オ SNS プロモーションの実施（インスタグラム、X、TikTok の運用）

(5) その他、アウトドアイベント開催支援

宇賀溪を会場に開催されたトレイルランニングイベントにおいて、地域の資源を利用した食の提供や、休憩所の運営支援を行った。

ア 令和7年10月4日 INABE KOMONO PEAK HUNT TRAIL

エイド400人、ゴール振る舞い180人

イ 令和7年12月6日 Nordisk Mountain Trail INABE

エイド69人、ゴール振る舞い100人

ウ 令和8年2月15日 親子アウトドアチャレンジ DAY20 人

4 その他の事業

(1) 東海環状自動車道ムービー作成支援 令和7年6月～8月

(2) 第7回サスティナブルブランド StudentAmbassador 東海ブロック大会

令和7年10月25日

(3) 視察対応8件

(4) 市内小中学校（フィールドワーク、授業）対応2件

5 参考 受賞歴

(1) 地域プロモーションアワード2022 ふるさとパンフレット大賞「優秀賞」

(2) 第12回地域再生大賞 優秀賞受賞

(3) 第8回環境省グッドライフアワード 審査員特別賞「SDGs ビジネス賞」受賞

(4) 地方創生☆政策アイデアコンテスト2020 優秀賞

令和 7 年度収支決算書

令和 7 年 4 月 1 日
令和 8 年 3 月 31 日
(単位：円)

<収入の部>

科 目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
業務受託収入	94,743,186	69,229,650	25,513,536	
補助金収入	36,000,000	39,083,000	△ 3,083,000	いなべ市運営補助金6,000,000 いなべ市グリーンツーリズム推進地区価値創造事業30,000,000
宇賀溪事業収入 ショップ除く	0	11,589,143	△ 11,589,143	
その他自主事業収入	33,635,578	31,650,597	1,984,981	小売、ツーリズム
雑収入	215,724	135,994	79,730	利息、貸倒引当金戻入、視察資料
保険金収入	0	12,300	△ 12,300	
収入合計	164,594,488	151,700,684	12,893,804	
前年度繰越金	7,981,447	4,531,690	3,449,757	
合計	172,575,935	156,232,374	16,343,561	

<支出の部>

科 目	当年度	前年度	前年度との比較	備考
商品仕入	19,669,598	23,667,253	△ 3,997,655	inabe's Shop、イベント
広告宣伝費	2,790,211	2,559,213	230,998	プロモーション事業、広報・広告
販売促進費	285,779	343,916	△ 58,137	オリジナル商品顧客開拓
会場借上料	2,110,690	2,201,606	△ 90,916	イベント会場借上料
役員報酬	3,000,000	3,000,000	0	代表理事報酬
給与手当	29,100,552	28,850,379	250,173	職員6名、アルバイト、市派遣職員手当
賞与	7,503,980	7,178,300	325,680	
雑給	79,294	143,226	△ 63,932	臨時アルバイト給料
外注費	44,567,219	39,588,070	4,979,149	施設管理、プロモーション、山辺事業
法定福利費	7,423,560	8,971,812	△ 1,548,252	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
減価償却費	105,118	100,337	4,781	冷蔵ショーケース
修繕費	35,190	0	35,190	
消耗品費	7,407,092	12,880,318	△ 5,473,226	補助金事業備品
旅費交通費	1,662,481	3,017,464	△ 1,354,983	通勤手当、出張旅費
租税公課	313,431	129,800	183,631	印紙代
交際接待費	534,422	224,696	309,726	ボランティア謝金及び弁当・出張手土産
保険料	1,706,400	1,358,980	347,420	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	1,495,645	1,591,212	△ 95,567	電話、システム、切手
諸会費	127,560	106,478	21,082	観光協会、商工会、クレジットカード
車両関係費	636,087	249,846	386,241	ガソリン代
貸倒繰入額	0	45,814	△ 45,814	
会議費	116,747	98,958	17,789	会議用会場費、講師昼食費
リース料	1,228,500	1,338,500	△ 110,000	軽トラリース
保守管理費	60,000	30,000	30,000	WOSH保守プラン
雑費	1,449,626	1,295,530	154,096	システム手数料・委託手数料
研修費	49,693	41,819	7,874	視察、資格講習
報酬料金	1,322,730	1,156,000	166,730	会計士顧問料、社労士報酬
設備備品引当金繰入	0	5,000,000	△ 5,000,000	
雑損失	2,099,454	10,000	2,089,454	消費税精算損
特別損失	13,268,153	0	13,268,153	

法人税、住民税及び事業税	3,969,423	3,071,400	898,023	
予備費	0	0	0	
支出合計	154,118,635	148,250,927	5,867,708	
期末繰越利益剰余金（繰越金）	18,457,300	7,981,447	10,475,853	
支出計	172,575,935	156,232,374	16,343,561	

自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 31 日

損 益 計 算 書

科 目	金 額	円
【純 売 上 高】		
業 務 受 託 収 入	94,743,186	
補 助 金 収 入	36,000,000	
自 主 事 業 収 入	33,635,578	164,378,764
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,681,890	
10% 仕 入 高	5,721,444	
8% 仕 入 高	14,472,712	
合 計	(21,876,046)	
期 末 棚 卸 高	2,230,209	19,645,837
売 上 総 利 益		(144,732,927)
【販売費及び一般管理費】		
広 告 宣 伝 費	2,790,211	
販 売 促 進 費	285,779	
会 場 借 上 費	2,093,070	
役 員 報 酬	3,000,000	
給 料 手 当	29,100,552	
賞 与	7,503,980	
雑 給	79,294	
外 注 費	44,567,219	
法 定 福 利 費	7,423,560	
厚 生 費	23,761	
減 価 却 費	105,118	
修 繕 費	35,190	
消 耗 品 費	7,407,092	
水 道 光 熱 費	17,620	
旅 費 交 通 費	1,662,481	
租 税 公 課	313,431	
交 際 接 待 費	534,422	
保 険 料	1,706,400	
通 信 費	1,495,645	
諸 会 費	127,560	
車 両 関 係 費	636,087	
会 議 費	116,747	
リ ー 入 料	1,228,500	
保 守 管 理 費	60,000	
雑 費	1,449,626	
研 修 費	49,693	
報 酬 料 金	1,322,730	115,135,768
営 業 利 益		(29,597,159)
【営 業 外 収 益】		
受 取 利 息	124,222	

科 目		金 額
		円
貸倒引当金戻入	40,000	
雑収入	51,502	215,724
【営業外費用】		
雑損失	2,099,454	2,099,454
経常利益		(27,713,429)
【特別損失】		
固定資産除却損	4	
固定資産圧縮損	13,268,149	13,268,153
税引前当期純利益		(14,445,276)
法人税、住民税及び事業税		3,969,423
当期純利益		(10,475,853)

貸 借 対 照 表

令和 8 年 3 月 31 日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 60,280,274】	【流 動 負 債】	【 15,139,051】
現 金 及 び 預 金	28,657,338	買 掛 金	1,108,946
売 掛 金	28,782,277	クレジット未払費用	608,621
商 品	2,230,209	未 払 費 用	6,220,572
前 払 費 用	780,450	未 払 消 費 税 等	4,020,900
貸 倒 引 当 金	△170,000	預 り 金	765,012
【固 定 資 産】	【 1,116,077】	法人税等充当金	2,415,000
(有形固定資産)	(951,427)	【引 当 金】	【 17,800,000】
建 物 付 属 設 備	851,683	設 備 備 品 引 当 金	10,000,000
機 械 装 置	3	修 繕 引 当 金	7,800,000
車 輛 運 搬 具	2		
工 具 器 具 備 品	99,739	負 債 の 部 合 計	32,939,051
(投資その他の資産)	(164,650)	資 本 の 部	
保 証 金	150,000	【株 主 資 本】	【 28,457,300】
預 託 金	14,650	(資 本 金)	(10,000,000)
		基 金	10,000,000
		(利 益 剰 余 金)	(18,457,300)
		繰越利益剰余金	18,457,300
		純 資 産 の 部 合 計	28,457,300
資 産 の 部 合 計	61,396,351	負債及び純資産の部合計	61,396,351

令和 8 年度事業計画書

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

いなべ市は、現在、市内回遊促進、農業・商業振興、生業支援、移住促進、市民協働促進、持続可能なまちづくりといった課題に直面しています。また、人口減少や激しさを増す社会変化への柔軟な対応が求められています。これらの多様な行政、社会課題を理解し、各行政部門と連携可能な公共性の側面と、スピードと柔軟性をベースに広く市民感覚と顧客目線を取り入れる企業性の側面を併せ持つまちづくり事業に取り組み、引き続きグリーンクリエイティブいなべを理念としたまちづくりを推進します。

弊社は、令和 2 年 4 月の設立後、今年が 7 期目となります。組織として順調に成長を重ね、事業規模や取扱領域が増加するにつれ、地域の住民、事業者、施設との関わりも深まり、さまざまな相乗効果が見られるようになってまいりました。今年度は、梅林公園を拠点とした観光・交流機能の強化により、これまでの取組をさらに発展させてまいります。

国をはじめ、全国各地で国内の観光需要やインバウンド施策が数多く打ち出されるなど、日本全体として観光をフックとした地域の活性化が推し進められています。いなべ市でも、山辺エリアの新施設開業を契機として活性化の機運が一層高まっており、積極的な事業推進及び地域内連携が求められています。また、長期的なまちづくりの方向性を示す「第 3 次いなべ市総合計画」が策定され、本計画を見据えたまちづくりが求められています。

このような機運と変化に合わせて、弊社は、いなべ市内の資源をさらに磨き上げると共に、山辺エリアを核とした観光、交流、関係人口創出のハブ機能を担いながら、周辺自治体、企業、そして各地の志ある方々と連携し、新たな価値を創造いたします。

1 にぎわい事業

“にぎわいの森”を含む庁舎周辺施設の環境を良好な状態に保持するとともに、各テナントとの連携調整、利用者のニーズ把握、課題解決に取り組むことで施設の満足度向上につなげます。

今年度は、にぎわいの森開業から 7 年が経過し、さらに「にぎわい」と「地域愛着」を創出していきます。また、阿下喜ビジターセンターを起点とした地域回遊を生み出すため、周辺施設のハブの機能となるよう連携を図っていきます。

上記を、市民、事業者、団体等と連携し、施設の利活用促進を図りながら、上記施設の効果が広く波及するように取り組みます。

【運営の柱】

(1) 庁舎周辺管理業務

ア 庁舎周辺植栽管理・清掃管理、シビックコア棟清掃

イ マネジメント業務

(2) にぎわいの森

ア イベント、体験等によるにぎわいの創出

イ テナントとの連携した施設機能の強化

ウ にぎわいの森と山辺施設の連携体制の構築及び地域回遊促進

- エ にぎわいの森ウェブサイト、SNS 等での情報発信
- (3) 阿下喜ビジターセンター
 - ア 施設管理運営
 - イ 来館者への対応
 - ウ イベント等催事のサポート
 - エ レンタサイクル管理
- (4) inabe' s Shop
 - ア 顔の見える商品販売と企画販売の強化
 - イ 市内企業への出張販売
 - ウ 新商品開発・販路開拓
- (5) 山辺店舗群実証実験

MobileHUTTE(ダイハツ工業との連携開発による軽トラ用の屋台)を利用した実証実験

2 地域デザイン事業

未来を見据えた持続可能な地域づくりにつながる事業を実施します。

さまざまな地域資源や人などをつなぎ、来訪者の地域回遊を促進するなど、新たな交流と人の流れを創出します。

山辺の拠点と連携し、地域誘客を促進し、連携する事業者や地域への経済効果を生み出す仕組み及び体制構築に取り組みます。

子育てや世代間交流など、地域課題の解決につながる事業を実施します。同時に、活躍の場の創出や学びの機会を得るための企画を実施することで、将来のまちづくりを担う人材の発掘及び育成につなげます。

これらの事業を推進するために、当社団が各種調整役を担い、発掘した人々に焦点を当て、紙媒体や Web 等といった幅広いメディアを利用しつつも、統一された世界観を持って情報発信を行います。

【運営の柱】

- (1) ツーリズム事業
 - ア 山辺拠点施設連携運営支援
 - イ 経済波及効果算出
 - ウ 観光客（インバウンド含む）の受入体制の強化と人材育成
 - エ 旅行エージェントへの売り込み
 - オ 着地型商品の開発
 - カ 三重県事業との連携
 - キ 研修旅行及び教育旅行等の商品開発と受け入れ
 - ク 観光のプロモーション及びサイト・SNS 運営
- (2) 生業、移住、子育てなどをテーマとしたイベント・企画の実施
 - ア グリーンインフラ事業の支援
 - イ まちづくり会議の開催
 - ウ 学びの機会となる講座やイベント、体験型ワークショップの開催

- (3) GCI のブランディング・デザイン・プロモーションコントロール
 - ア 各テーマに沿った媒体制作
 - イ まちづくりのポータルサイトの運営
- (4) 商品開発・販路開拓における価値向上支援
 - 地域商材のブラッシュアップ等
- (5) まちづくりの調査・研究
 - ア まちづくりに関する情報の収集及び研究
 - イ 人材育成のための研修

3 地域イノベーション事業

いなべ市の持続的な発展のため、本事業では、梅林公園の指定管理を中核としながら、地域の潜在的な活力を引き出し、既存の地域資源と多様な人材を最大限に活用した新たな事業の創造を目指します。具体的には、梅林公園というフィールドを活用し、先進的な技術や斬新なアイデアを積極的に導入・融合させ、いなべ市ならではの新たな価値創造を推進します。

また、梅林公園および新たに整備される施設を核に、人口減少や高齢化、環境問題といった地域課題の解決に向け、企業や団体、行政、そして市民がそれぞれの知恵や資源を持ち寄り連携するためのプラットフォームを構築します。その上で、指定管理者としての運営機能を活かし、持続可能な社会の実現に貢献するビジネスモデルを実装・展開することで、地域課題の解決と新たな産業の育成を両輪で進めます。

同時に、地方が有する豊かな自然、歴史、文化、伝統工芸、農林水産物といった地域資源について、新たな活用方法を探求します。これらの資源と外部の知識や技術、アイデアを結びつけることで、地方ならではの高付加価値な商品やサービス、体験プログラムを開発し、地域経済の活性化に貢献します。特に、都市部の企業や研究機関との連携を強化し、オープンイノベーションを推進することで、地方だけでは生まれにくい革新的な事業を創出します。

【運営の柱】

- (1) 梅林公園の指定管理業務
- (2) 地域資源の活用と新事業の創出支援
 - ア 地域資源調査・分析
 - イ 新商品・サービス・体験プログラム開発支援
 - ウ 地域事業者連携
- (3) 地域連携とオープンイノベーションの推進
 - ア 地域ステークホルダー連携体制構築
 - イ 交流会・ワークショップ企画
 - ウ DX推進
- (4) イノベーション人材の育成・創出
 - ア イノベーション人材発掘・育成
 - イ 若年層育成支援

令和8年度収支予算書

令和8年4月1日

令和9年3月31日

(単位：千円)

<収入の部>

科 目	当年度	前年度	増減	備考
GCI事業				
業務受託収入	88,295	100,760	△ 12,465	
補助金収入	36,000	36,000	0	いなべ市
その他自主事業収入	21,290	19,800	1,490	小売、ツーリズム、コンサルティング
雑収入	150	150	0	利息、視察資料
小計	145,735	156,710	△ 10,975	
いなべ市梅林公園事業				
指定管理業務受託収入	49,995	0	49,995	
指定管理施設売上	83,060	0	83,060	宿泊、キャンプ、レストラン、物販
自主事業収入	52,160	0	52,160	体験、ツアー、加工所、イベント
雑収入	50	0	50	利息、視察資料
引当金取崩	10,000	0	10,000	備品購入
引当金取崩	6,000	0	6,000	修繕
小計	201,265	0	201,265	
収入合計	347,000	156,710	190,290	
前年度繰越金	18,457	7,981	10,476	
合計	365,457	164,691	200,766	

<支出の部>

科 目	当年度	前年度	増減	備考
商品仕入	42,800	16,500	26,300	
広告宣伝費	7,820	2,600	5,220	プロモーション事業、広報・広告
販売促進費	15,400	400	15,000	オリジナル商品顧客開拓
会場借上料	2,200	2,200	0	イベント会場借上料
役員報酬	3,000	3,000	0	代表理事報酬
給与手当	77,350	29,000	48,350	職員8人、アルバイト5人、市派遣職員手当
賞与	17,070	7,600	9,470	
雑給	200	200	0	臨時アルバイト給与
外注費	96,470	48,000	48,470	施設管理、プロモーション等
法定福利費	16,560	9,000	7,560	厚生年金、健康保険、雇用保険、市職員負担金
厚生費	30	0	30	
減価償却費	550	100	450	ショップ冷蔵庫
修繕費	4,320	200	4,120	看板・設備等修理
消耗品費	31,070	5,000	26,070	
水道光熱費	6,860	0	6,860	
旅費交通費	4,020	3,000	1,020	通勤手当、出張旅費
租税公課	500	130	370	償却資産税、印紙
交際接待費	850	250	600	出張土産、講師謝礼
保険料	2,330	1,600	730	事業活動包括保険、中退共掛金
通信費	2,890	1,600	1,290	電話、システム、切手
諸会費	180	200	△ 20	観光協会、商工会、三重県観光連盟
車両関係費	3,960	450	3,510	ガソリン代・車両管理
貸倒繰入額	50	100	△ 50	

会議費	340	100	240	会議室
リース料	4,010	1,400	2,610	
保守管理費	3,690	30	3,660	WOSH保守プラン
雑費	2,920	1,000	1,920	
研修費	550	50	500	視察、資格講習
報酬料金	1,900	1,200	700	会計士、社労士報酬
関係会社株式	800	0	800	新法人出資金
設備備品引当金繰入	0	0	0	
雑損失	0	0	0	
特別損失	0	15,000	△ 15,000	補助金購入資産の圧縮記帳
法人税、住民税及び事業税	3,600	3,300	300	
予備費	1,167	481	686	
支出合計	355,457	153,691	201,766	
期末繰越利益剰余金（繰越金）	10,000	11,000	△ 1,000	
支出計	365,457	164,691	200,766	

報告第18号

専決処分の報告について

(いなべ市消防団大安東分団詰所新築工事の請負契約を変更する契約の締結)

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により議会において指定されている事項について、別紙のとおり専決処分したので同条第2項の規定により報告する。

令和8年9月1日提出

いなべ市長 日 沖 靖

処分理由

駐車場の区画線工事及びフェンス設置に伴う市道の舗装工事の追加等するため、専決処分により、工事請負契約を変更した。

専決第10号

専 決 処 分 書

地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により指定された市長の専決処分事項について、次のとおり専決処分する。

令和8年8月3日

いなべ市長 日 沖 靖

いなべ市消防団大安東分団詰所新築工事の請負契約について、次のとおり契約を変更する。

- 1 変更前の契約金額
251,542,500円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 22,867,500円)
- 2 変更後の契約金額
253,850,300円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 23,077,300円)
- 3 契約の相手方
三重県いなべ市員弁町大泉新田62番地
石川建設株式会社
代表取締役 石川 博章

報告第 19 号

専決処分の報告について

(いなべ市消防団藤原地区詰所新築工事の請負契約を変更
する契約の締結)

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条第 1 項の規定により議会において指定されている事項について、別紙のとおり専決処分したので同条第 2 項の規定により報告する。

令和 8 年 9 月 1 日提出

いなべ市長 日 沖 靖

処分理由

駐車場の舗装工事、避難所環境向上及び詰所機能向上のための設備の追加並びに舗装工事の材料価格の高騰による設計単価の見直しのため、専決処分により、工事請負契約を変更した。

専決第 1 1 号

専 決 処 分 書

地方自治法(昭和 2 2 年法律第 6 7 号)第 1 8 0 条第 1 項の規定に基づき、議会の議決により指定された市長の専決処分事項について、次のとおり専決処分する。

令和 8 年 8 月 6 日

いなべ市長 日 沖 靖

いなべ市消防団藤原地区詰所新築工事の請負契約について、次のとおり契約を変更する。

1 変更前の契約金額

5 5 1, 5 8 8, 4 0 0 円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 50, 144, 400 円)

2 変更後の契約金額

5 5 9, 8 1 8, 6 0 0 円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 50, 892, 600 円)

3 契約の相手方

三重県三重郡川越町大字高松字乾 2 1 1 番地

株式会社河村産業所 三重支店

支店長 福島 英文

報告第 20 号

専決処分の報告について

(いなべ市藤原文化センター大規模改修工事の請負契約を
変更する契約の締結)

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条第 1 項の規定により議会において指定されている事項について、別紙のとおり専決処分したので同条第 2 項の規定により報告する。

令和 8 年 9 月 1 日提出

いなべ市長 日 沖 靖

処分理由

いなべ市藤原文化センターの空調設備、館内天井及び壁面の補修工事並びに消防用設備設置工事を追加するため、専決処分により、工事請負契約を変更した。

専決第 1 2 号

専 決 処 分 書

地方自治法(昭和 2 2 年法律第 6 7 号)第 1 8 0 条第 1 項の規定に基づき、議会の議決により指定された市長の専決処分事項について、次のとおり専決処分する。

令和 8 年 8 月 1 0 日

いなべ市長 日 沖 靖

いなべ市藤原文化センター大規模改修工事の請負契約について、次のとおり契約を変更する。

1 変更前の契約金額

7 7 5, 1 7 0, 0 0 0 円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 70, 470, 000 円)

2 変更後の契約金額

7 8 9, 4 3 1, 5 0 0 円

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 71, 766, 500 円)

3 契約の相手方

三重県桑名市大福 3 8 0 番地 1

株式会社大橋組 三重営業所

所長 大橋 昭文